

2023年度 決算補足資料

2024年5月17日



2023年度 決算のポイント

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度				対前年同期比	〈参考〉 2023年度通期 10/25修正計画
	通期	上期	下期	4Q	通期		
売上高	140,938	77,750	80,504	39,443	158,254	+17,316	155,000
営業利益	23	601	1,690	649	2,291	+2,268	2,400
経常利益	94	938	1,636	762	2,574	+2,480	2,200
当期純利益	△84	900	△8,599	△8,954	△7,699	△7,615	1,400
売上重量*	76	83	84	82	84	+8	83

* 2018年度平均を100とした場合の指標

《全体感》

- 売上 : 受注量の着実な回復及び為替影響もあり、売上高は前期比12.2%増
売上重量は、各自動車メーカーの生産増を受け9.6%増
- 営業利益 : グループ全体では受注量が増加した事に加え、エネルギー費等の価格是正も順調に進んだ事が収益に寄与
中国での日系自動車メーカーの販売不振は続いたものの、固定費等の圧縮によりコストの適正化を実施
- 当期純利益 : 主に中国工場の減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しにより損失が拡大

減損損失に関して

中国工場(広州・合肥)における減損損失の計上 約90億円

中国市場での急速な電動化シフトによる競争激化に伴い、当社主要顧客である日系自動車メーカーの減産影響を大きく受けたことにより収益が悪化、減損損失を計上。

→24年度以降は減価償却費負担が軽減

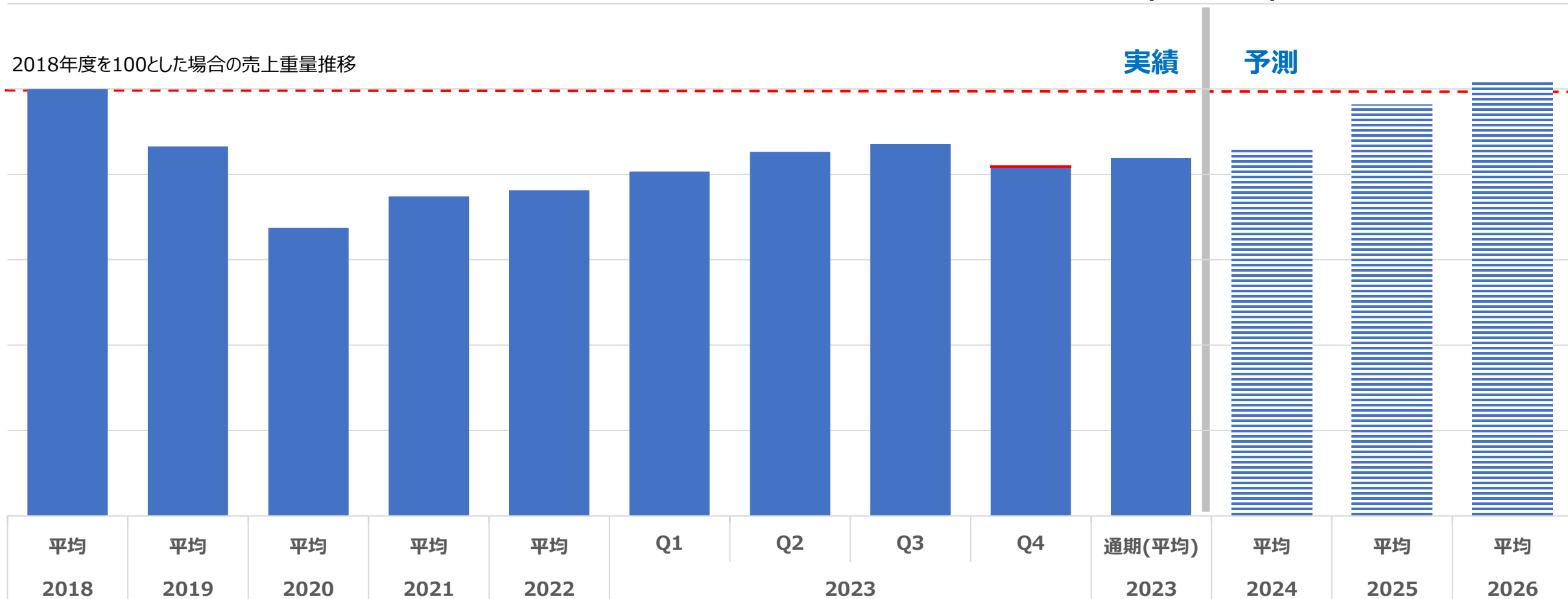
(年間約10億円の固定費削減)

→今後の中国における事業ポートフォリオの見直しを検討

売上重量推移

第4四半期では一部顧客の減産があったが、通期では10/25修正計画通りに推移
24年度以降、受注量の回復に加え新規品の量産開始等で26年度にコロナ禍以前(18年度)を上回る見込み

2018年度を100とした場合の売上重量推移



ダイカスト事業

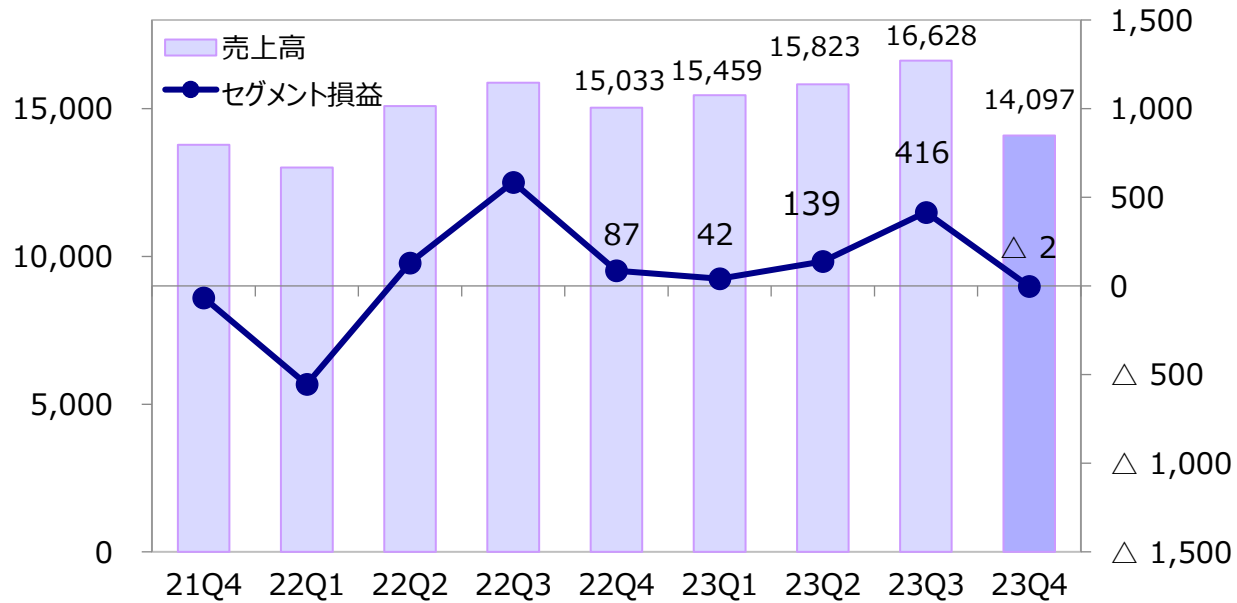
(単位：百万円)

		2022年度		2023年度			対前年同期比	〈参考〉 2023年度通期 10/25修正計画
		通期	上期	下期	4Q	通期		
日本	売上高	59,019	31,282	30,725	14,097	62,007	+2,988	63,500
	セグメント 損益	250	181	414	△2	595	+345	1,000
北米	売上高	36,995	22,971	24,996	12,521	47,967	+10,972	45,000
	セグメント 損益	△676	693	549	294	1,242	+1,918	1,400
アジア	売上高	33,676	16,302	18,796	10,187	35,098	+1,422	33,600
	セグメント 損益	8	△988	338	200	△650	△658	△1,200

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



《累計》

売上：620億円 前年同期比+29億円 (+5.1%)

損益：5.9億円 前年同期比+3.4億円 (黒字拡大)

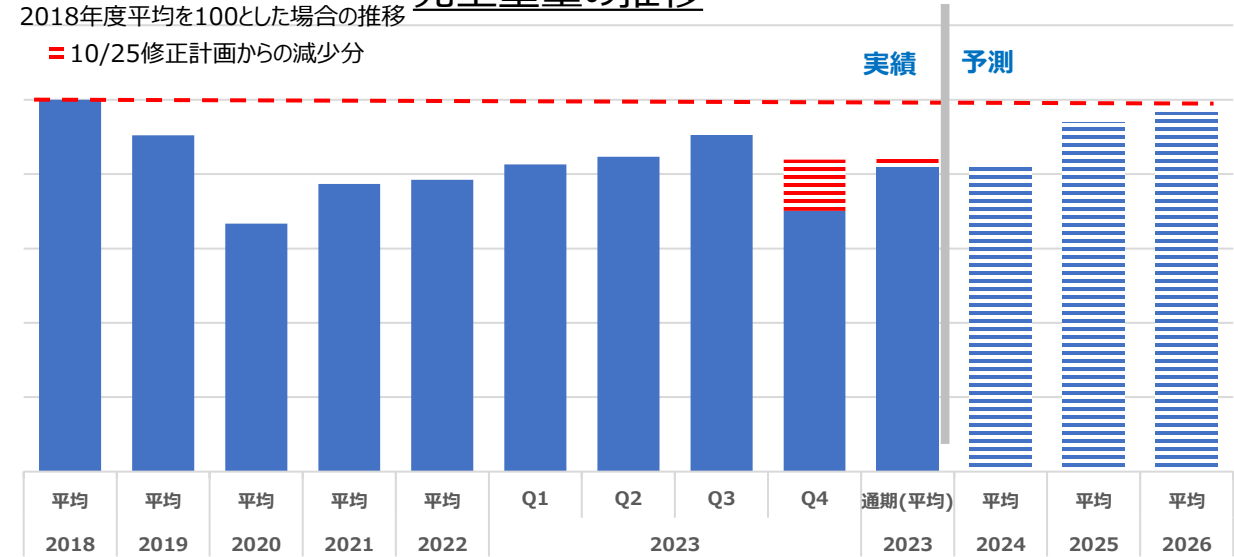
《第4四半期》

売上：140億円 前年同四半期比△9.3億円 (△6.2%)

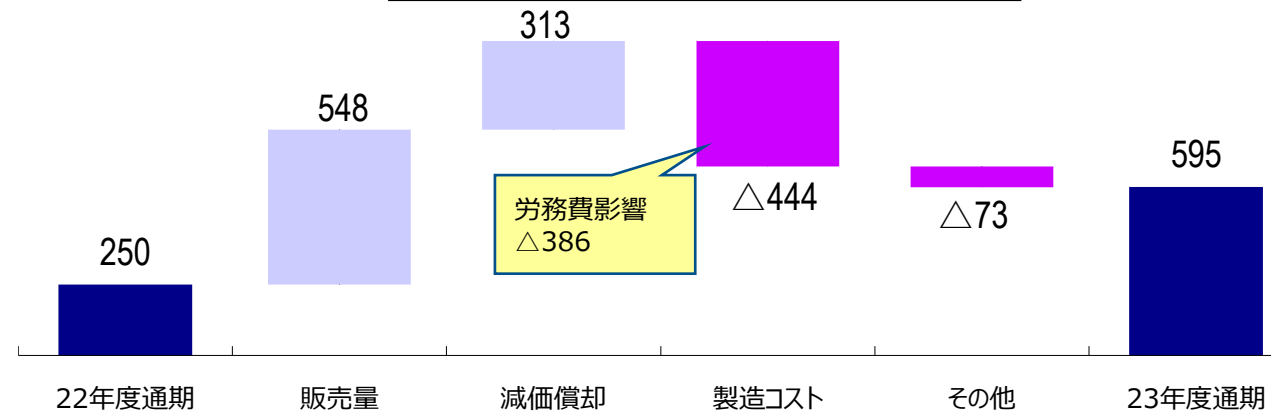
損益：△2百万円 前年同四半期比△0.9億円 (赤字)

- 4Qにおいて主要顧客数社での顧客事情による突発的な生産調整があったものの、全体的に受注量の回復が進み、年度累計では増収・増益。

売上重量の推移

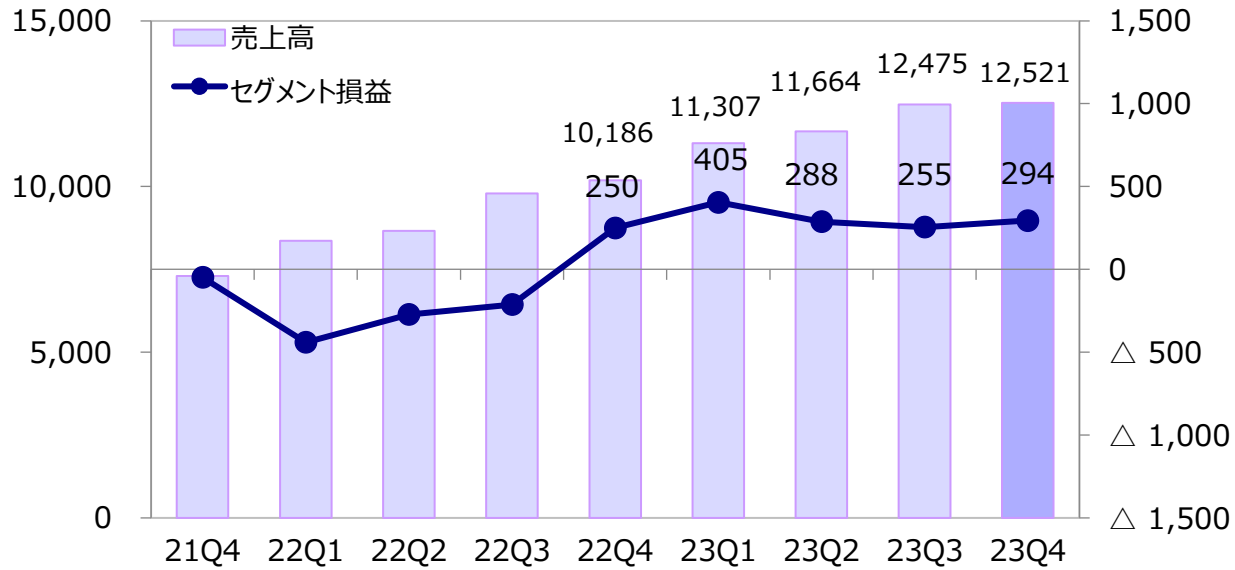


セグメント損益増減要因 (単位:百万円)

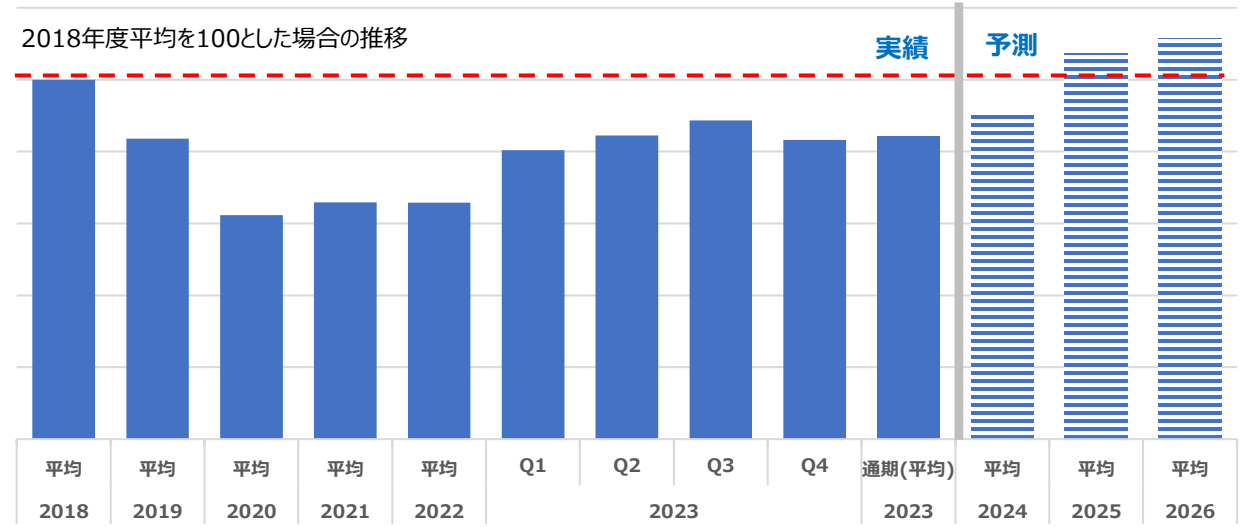


ダイカスト北米

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



《累計》

売上：479億円 前年同期比+109億円 (+29.7%)

損益：12億円 前年同期比+19億円 (黒字化)

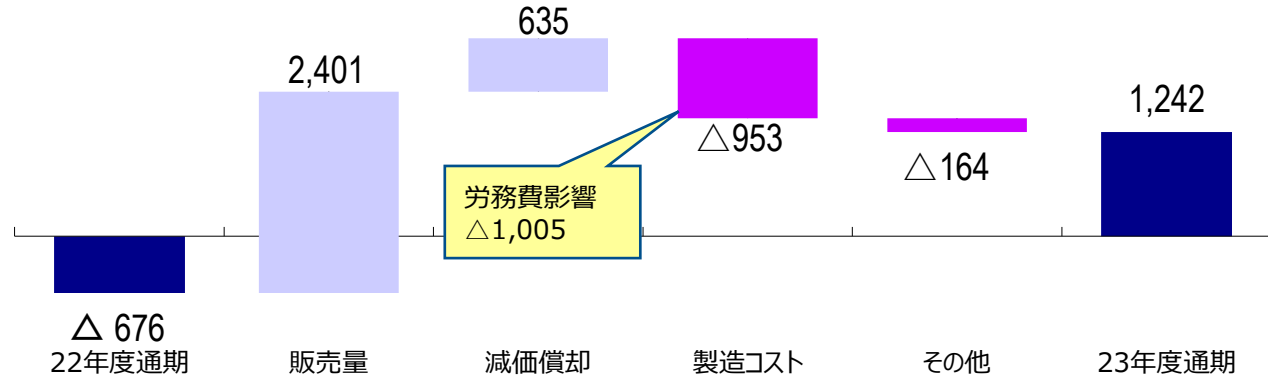
《第4四半期》

売上：125億円 前年同四半期比+23億円 (+22.9%)

損益：2.9億円 前年同四半期比+0.4億円 (+17.6%)

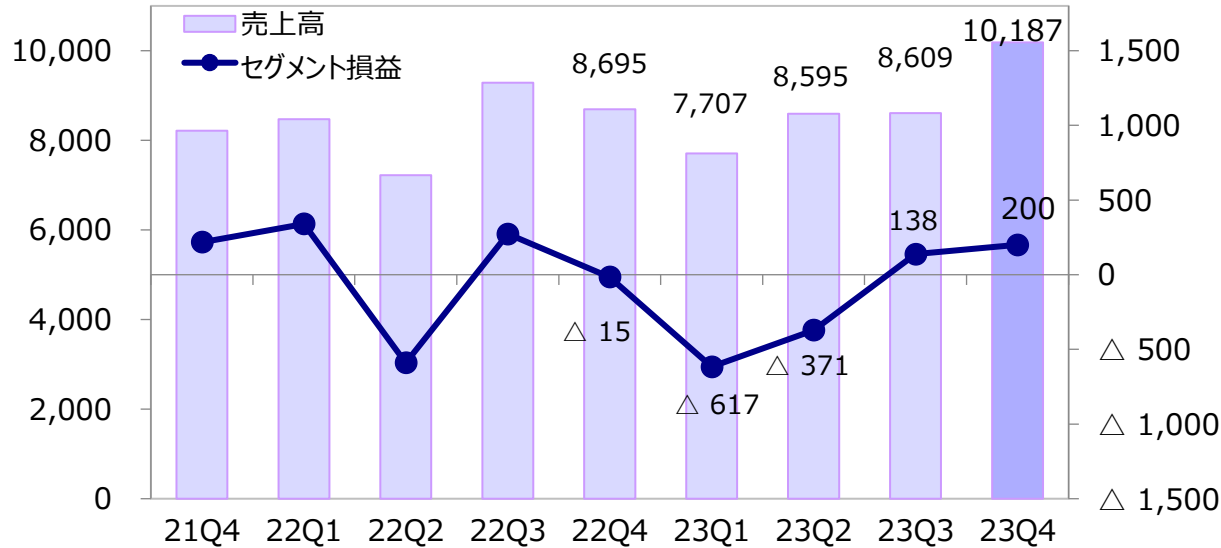
➢ 受注量が着実に回復し、増収・増益に寄与。労務費の上昇が引き続き大きいものの、安定的に収益を確保。

セグメント損益増減要因 (単位:百万円)

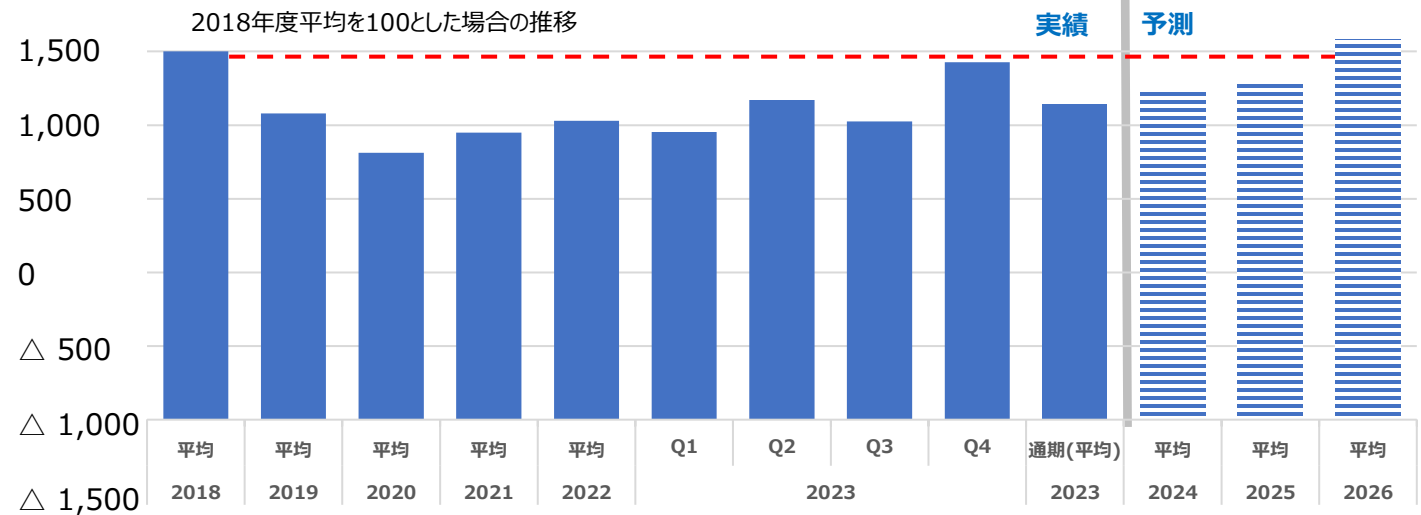


ダイカストアジア

売上高／セグメント損益の推移 (単位:百万円)

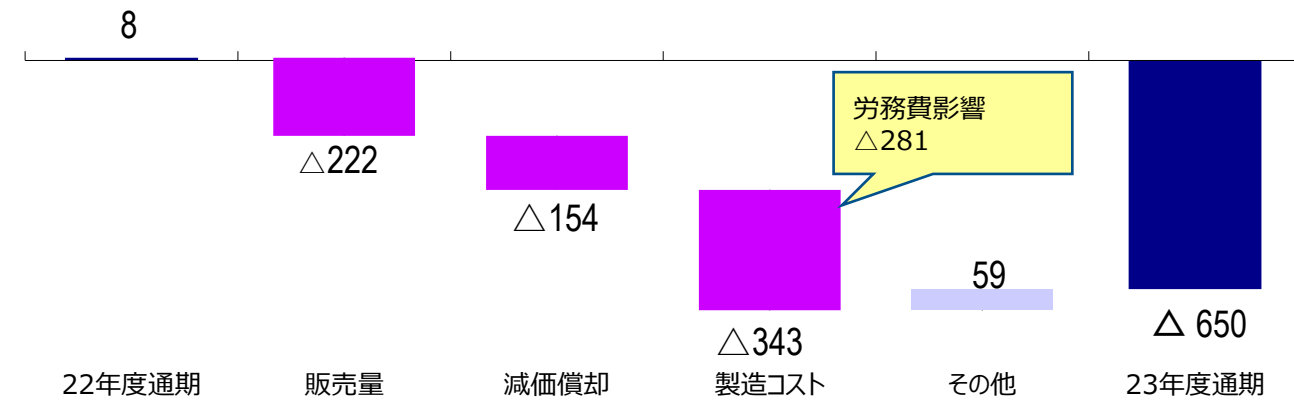


売上重量の推移



《累計》
売上：350億円 前年同期比+14億円 (+4.2%)
損益：△6.5億円 前年同期比△6.5億円 (赤字)
 《第4四半期》
売上：101億円 前年同四半期比+14億円 (+17.2%)
損益：2億円 前年同四半期比+2.1億円 (黒字化)
 中国での主要顧客の販売不振が続くものの、4Qにおいては一時的に受注量が増加し、四半期ベースでは黒字化。インド工場は、生産性の改善が進んでおり、来期以降の収益拡大に期待

セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2022年度	2023年度			対前年同期比	〈参考〉 2023年度通期 10/25修正計画	
		通期	上期	下期	4Q			通期
アルミニウム事業	売上高	7,975	3,509	3,548	1,641	7,057	△918	7,000
	セグメント損益	274	88	53	11	141	△133	200
完成品事業	売上高	3,271	3,684	2,439	999	6,123	+2,852	5,900
	セグメント損益	285	487	404	150	891	+606	800

<アルミニウム事業>

- 売上：アルミニウム市況下落の影響により減収
- 損益：売上高の減少等により減益

<完成品事業>

- 売上：主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム等の大型物件の受注が増加
- 損益：過去最高の売上高により過去最高益を記録。全体の収益に大きく貢献

2024年度 通期計画

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度(計画)				対前年同期比
	通期	上期	下期	通期		
売上高	158,254	77,000	82,000	159,000	-	+746
営業利益	2,291	1,300	2,700	4,000	(2.5%)	+1,709
経常利益	2,574	1,000	2,500	3,500	(2.2%)	+926
当期純利益	△7,699	100	1,900	2,000	(1.3%)	+9,699

- 北米、インドを中心とした新規製品の立ち上げ等による受注量増加を見込む
- 中国市場は引き続き厳しい環境が続くと想定
- 生産体制の合理化による固定費の削減及びさらなる生産性改善で受注変動への耐性を強化
- エネルギー費及び労務費の価格転嫁交渉の推進によりコスト増加影響を吸収していく

計画の前提レート： USD 140.00円 人民元 20.0円 ルピー 1.70円

株主還元

配当：24年度は年間28円への増配を計画

23年度は減損の計上等によって当期純損失となり、誠に遺憾ながら期末配当を期初予想の10円から5円へ減配。24年度は引き続き財務戦略に則り、連結業績に基づき利益還元を実施

項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
年間配当	10	10	15	28
中間	5	5	10	10
期末	5	5	5	18
1株当たり純利益	△201.23	△3.26	△300.55	81.27
配当性向	—	—	—	34.5%

自己株式の取得：順調に推移

配当と同様、当社財務戦略に沿った資本政策遂行の一環として事業環境、財務状況等を勘案して機動的に実施

項目	前回実績	取得枠	4月末時点	進捗率
取得株数	679,200	600,000	233,200	38.9%
取得総額(百万円)	499.9	500	183.5	36.7%
取得期間	23年5月19日 ～12月31日	24年2月19日～8月31日		

※24年2月19日に自己株式の消却を実施：消却株数530,000株

※24年3月31日時点の自己株式数：337,057株



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。